

1. セッション名
大学におけるシステムズエンジニアリング教育と研究

2. オーガナイザ氏名、所属、連絡先(電話番号/メールアドレス)

代表	氏名	所属	連絡先
○	笠原次郎	名古屋大学 大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 教授	
	棚次亘弘	室蘭工業大学 宇宙研名誉教授	

3. 概要

航空宇宙工学はシステムズエンジニアリングの1つであり、大学でシステム工学の教育・研究を担う、生き残っている唯一の学科である。過去には、造船工学科や原子力工学科は存在したが、なくなってしまった。近年の航空宇宙分野の学会等の講演会の発表内容を見ると基礎・要素研究に偏重し、航空宇宙工学本来のシステムズエンジニアリングの研究が少なくなっている。これが原因かは確認していないが、企業関係者の航空宇宙分野の学会等の講演会への参加も少なくなってきたように思われる。また、国内で進行している航空宇宙分野の大型プロジェクトも難航しているようである。要するに、日本のシステムズエンジニアの育成が企業任せになり、大学での教育・研究が機能しなくなっているように思われる。

そこで、大学におけるシステムズエンジニアリング教育とその養成の舞台となる研究を復興させようとしている大学関係者にそれぞれの大学で実践している状況を発表して頂き、その成果や効果、問題点を示し、今後、システムズエンジニアリング教育・研究を始めようとされている大学関係者への情報提供としたい。

日本は急激な少子高齢化社会に進みつつあり、少ない労働人口で多くの高齢者を支えるには付加価値の高い大きなシステムを扱う産業構造へ軸足を移す必要があり、そのような産業の1つが航空宇宙産業である。この産業を支えるシステムズエンジニアの育成は重要な課題であり、大学や学会に期待される役割が大きいことからこのオーガナイズドセッションを企画した。

4. セッション構成、発表件数

セッション構成:1件の発表件数 20分

発表件数:8件

5. 個別発表題目と著者、所属、講演登録番号(発表順)

セッション#	著者	所属	講演登録番号
システムズエンジニアリングの今昔	秋葉鎌二郎	北海道宇宙科学技術創生センター	01
ISASにおけるシステム工学の実践と教育(その光と影)	森田泰弘	宇宙科学研究所	02
デトネーションロケットエンジンシステム飛行実	笠原次郎	名古屋大学	03

証を通じた実践的教育・研究			
超小型衛星をベースにした大学のシステム工学研究・教育の実践	中須賀慎一	東京大学	04
小型ロケットを用いたシステム工学教育	永田晴紀	北海道大学	05
東海大学の航空宇宙関連学生プロジェクト	那賀川一郎	東海大学	06
小型無人超音機の自律飛行実現に向けたシステム工学	上羽正純	室蘭工業大学	07
大学におけるシステムズエンジニアリング教育・研究の必要性と効果	棚次亘弘	室蘭工大・宇宙研名誉教授	08

6. その他

司会者は、講演登録番号 01-04 を永田晴紀が担当し、05-08 を笠原次郎が担当する。